

開催結果概要

会議名	令和7年度 第3回守山市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和8年2月4日(水) 午後2時から午後3時30分まで
開催場所	守山市役所2階 防災会議室
出席者氏名	【委員】 吉原福全(会長)、中川郁男(副会長)、金谷健、橋本征二、岸年江、葭本勝利、田中ひろ子、浦山重雄 【市事務局】 林龍史(環境生活部長)、井上哲也(環境生活部次長兼ごみ減量推進課長)、羽場宏典(環境センター所長)、高木覚(環境センター係長)、灘野純司(ごみ減量推進課係長)、岸田萌花(ごみ減量推進課主事)
欠席委員氏名	藤井絢子委員
傍聴人数	0人
会議次第	1 開会 2 環境生活部長あいさつ 3 会長および副会長の選任 事務局案により、吉原会長、中川副会長を選出 4 会長挨拶 5 議事 (1) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画中間見直しに係る市民説明会等の結果および最終計画(案)について 6 閉会

発言者	主な意見・内容
委員	ウォーターサーバーについては市役所の目立つところに置いてくれるのか。会館などにも設置してくれるのか。
事務局	市役所は既存のウォーターステーションを周知する。会館等について検討していく。
委員	第5章「適正処理の確保」の⑬処理困難物に対する体制整備で漬物石や物干し台等について検討していくとされているが、庭の石などはどうなるのでしょうか。
事務局	まずは漬物石と物干し台といったところから始めていきたい。ただし、石などの自然物については廃棄物に該当しないため、受け入れは考えていない。
委員	今回提示された資料2の概要版は審議会用か市民の方も見てもらう想定のものかどちらか。
事務局	市民の方に見てもらう想定をしている。
委員	それならば概要版は分かりにくい。①現在は見直し後のことが記載されている資料となっている。見直し前と見直し後がクリアにわかるようにすべき。目標を変えるのであれば、変える理由も書いた方がよい。例えば、第4章のところも現状の数値に対して、新目標の削減率を記載されているが、大事であるのは第3章のところに記載されている当初設定した目標の数値との比較ではないか。②リサイクル率についても、総リサイクル率という数値で目標を維持とされており、県内順位を書かれているが、他の自治体が使っていない尺度であり書かない方がよい。③5章に赤字部分が追加施策と書かれているが、これが5章のみに適用されていることが分かりにくい。
事務局	①見直し内容をクリアにする記載方法について検討する。②総リサイクル率は他市と尺度が異なるので、順位は記載しないようする。③5章以外の赤字部分を違う色にするなど誤解のないようにする。
会長	第3章のところで、①目標と実績の改善率の記載において、現在値がAで目標がBで改善率がB/Aとなっているなかマイナスの数値は出てこない。改善率という値であれば、マイナスがつけば改善されていないと思うので記載方法を検討すべき。先ほどの委員の意見も踏まえ、どこを基準にするのかを明確にし、

	資料を作成すべき。
委員	守山市に大企業の研究所や工場が近年開業する予定で数千人規模の人達が来られる予定である。事業系ごみ量に加味されているのか。
事務局	現状の事業所のごみ量の推移からの算出しており、新たな事業所のごみ量を予測して算出していない。
委員	集合住宅も事業系ごみに含まれていると思うが、これも増加傾向にあるため加味されているのか。
事務局	先ほどの事業所と同様の考え方で算出している。
委員	資料1のほうで焼却灰のリサイクルの記載がある。実際、焼却灰をリサイクルするとかかなりリサイクル率は上がると思うがコストもかかるだろう。具体的にどのようなリサイクルを予定されているのか。
事務局	焼却炉の下部にあるストーカ下から出てくる落じん灰をリサイクルするような取り組みを進めている。既に工事を終え、現在有価で売却しているような状況。指定工場に持ち込み貴金属等を取り出すような取り組みをしている。
委員	製錬会社に売るのですか。
事務局	工場に持って行って、そこで風で異物を飛ばし、純度を上げ、その後に製錬会社に売却していると聞いている。
委員	総リサイクルは、どこまでの資源物を含めるのか。この計画の中での民間回収量とは何を指すのか定義していただいた方が良い。
事務局	スーパーでの回収状況を調査しているため、スーパー等と記載を検討していく。
会長	先ほど新規事業者の意見があったが、時間的な制約もあるが、分かる部分についてはまとめていったらどうかと思います。
事務局	駅前に事業所が来年度の秋ごろにオープンする予定。再来年度には数値が分かってくるが事務系のごみが主になってくると思うのでまずは実績の把握に努めたい。笠原にも工業団地が計画されているが、本計画の最終年度あたりに稼働するかもいう状況。今後情報を注視し、計画の進捗状況の審議会の際、お答え

委員	<p>したい。</p> <p>資料3で気づいた点として、①P6に「近年では農業の大規模化により持ちなおしている」との記載は何が持ち直しているのかを記載すべき。②P30にリサイクル率が「現行計画同様の25.3%を目標とします」と記載されていますが、総リサイクル率での目標であるため、この記載を見直すべき。③P34の食品排出事業所への食品リサイクル法等に基づく再利用の促進の項目で、前回素案のときは生ごみ処理機の導入や民間の施肥化施設への搬出ということが書かれていたが、今回は訪問中心に書かれ、削除されているため、この意図を教えてください。</p>
事務局	<p>①②については修正します。③については、先進的な取り組みの紹介のなかで生ごみ処理機の導入や民間の施肥化施設への搬出ということが説明できるため詳細に書かなくても良いとの思いで簡略化し記載している。</p>
会長	<p>分かり易く「引き続き」などの記載をするように。</p>
委員	<p>①P15でリサイクル率の実績の記載では、全国や県の平均値と比較した場合、上回っていると記載されているが、全国平均より下回っているため修正が必要。②資料P33以降に取り上げている施策と取り上げていない施策がありこれはどういうことか。③P35のリチウムイオン蓄電池について、守山市は危険・有害ごみという区分をお持ちであることや、リチウムイオン蓄電池の分別回収を実施される自治体もでてきており、ステーション回収等を検討されているのかと思う。</p>
事務局	<p>①修正します。②今回拡充したり新たな施策のみ文書に記載している。③守山市ではリチウムイオン蓄電池を乾電池と一緒に電池類として収集しているが、まだまだ普及できていないため、しっかり周知していきたい。</p>
委員	<p>施策の記載・未記載については、説明文を加えていただきたい。</p>
委員	<p>資料2の「適正処理の確保」のところに、資源持ち去りパトロールと記載されているが、11月ごろ自治会の役員で外で作業をしていると、いかにも怪しい他県ナンバーのトラックが来たので後を追いかけたが見失いました。しかし、ナンバープレートは依然持ち去りをした車のナンバーと同じようだった。そういうトラックは回収日を把握しているし、人通りの多いところには行かない傾向にある。我々の自治会でも年間で把握しているだけでも4～5回盗られているが、市の方でパトロールをするのか。</p>

事務局	市のほうで連絡が多い場所の確認をする。立っているだけで通りすぎてくれるので、職員も危険を伴うことがないようにする。その状況を、警察の方にはしっかり内容の連携、情報の共有をさせていただきたいと思っている。
副会長	警察の方にずっと立っていただくのは難しいと思うので、回収日にパトカーやバイクで巡回していただくだけで抑止力になるため、警察の方にはぜひ協力いただきたい。
委員	資料2、3に県内で何番目かという記載があるが、2つのことを追加してほしい。①県内にいくつ自治体があるのか。②何番目かの記載があるが高いのか低いのかどちらかが分からない。例えば資料3の15ページ目にリサイクル率は県内で8番目とあるが上からなのか下からなのかが分からない。
委員	資料2の第5章、「環境学習の充実」で「⑤地域環境推進員における活動の充実」環境推進員とは新たな委員なのか。既存の委員なのか。
事務局	環境推進員は自治体に選出していただいている、ごみ分別のリーダー的存在。毎年5月にごみの分別や適正処理などの研修を受講いただき、その情報を自治会に浸透を図っていただいている。各自治会概ね200世帯に1人選出いただいている。
委員	資料1の市民説明会の意見で、物価高騰によりごみが減っているというような意見があるが、物価高騰でも必要なものは買う。それよりも製品の過剰な包装の製品が多く企業としてもしっかりと取り組むことが必要ではないか。
事務局	排出事業者のほうに出向き指導している。その中で、リデュースの取り組みができないかヒアリングを行っている。
委員	多くのペットボトルにもラベルがあり、そういうものがごみを増やしている。業者の工夫が必要では。
事務局	大手スーパーで総菜などでよく使用されるトレイについて、製造メーカーと連携され、トレイを薄くするなどごみの減量化に取り組まれている事例もあり、企業の方でも様々な工夫をなされている。
委員	ペットボトルはほとんどがしっかりリサイクルされており、ラベルも工夫されているが食品衛生法など法律を遵守するなか取り組んでおられる状況。ごみは

事務局	<p>コストになってくるので、企業側も配慮されている。</p> <p>努力されている企業の活動をしっかり周知し、そういう活動が広がるように取り組んでまいりたい。</p>
委員	<p>事業者には、多量排出事業者制度というものがあり、産業廃棄物を年間 1,000t 以上、特別管理産業廃棄物であれば年間 50t 以上排出しているところは計画を出していただき、県の方で公表していることや、特に大企業は国から製造段階での減量化も求められていることから、事業者側で廃棄物の削減にご努力いただいているという認識はしているところ。県でも工場立入等の機会の中で、事業者側でさらにできる努力がないかヒアリングを行う等、引き続きできることに取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>リサイクルショップやフリマアプリの啓発とあるが、運動公園や学区民のつどいで実施されているが、一部の人にしか情報が伝わっていない。広報等でそういう活動をもっと啓発すべき。</p>
事務局	<p>検討する。</p>